

斯カル暴行ヲ敢テ為シシ、アル會社ノ横暴ニ對シ勇毅ニ抗爭セリシ、アル王子電車  
従業員諸君ノ要求ハ絶對ニ正當デアル  
之ニ對シ却外全運輸勞働者諸君起シテ諸君ノ要求ヲ支持シ斯民又王電會社  
ノ非ヲ鳴ラシツ、アル

我カ勞働農民黨東京北部支部ハ飽クマテ諸君ノ要求ヲ支持シ諸君ノ要求ニ對シ  
為ニ最後迄戰フモノナルヲ此處ニ諸君ノ前ニ誓フモノデアル

昭和二年十二月五日

勞働農民黨

東京北部支部

常任幹事會

別誌

檄

原文ノ旨

親愛なる王子支部ノ兄弟諸君

今回王子電軌會社が諸君の頭上に加へた弾圧は暴逆無  
道之のもつてある 諸君が真に前途を憂へ會社百年の大  
計の爲に意志表示せる、宣傳ビラを撤布したと云ふだけ一  
會社の体面を汚損し不穩の言動であるとの理由に及らぬ理屈  
を付け責任者として十名、前戦闘士を誅首し六名に出勤停止  
を何等の豫告もせず、疾風迅雷的の聲表せる事は明かに組合破  
壞の飛骨なる策謀である。

これ社會の進歩に逆行せんとすも暴舉にあらずして何である。  
所謂「生産合理化」政策による安田氏の直系たる東京電力  
と王子電軌との合同問題が暗々裡々進捗しつつある將——兄弟